

〈報告〉

「中小企業診断士活動状況アンケート調査」 結果について

令和8年5月

一般社団法人 日本中小企業診断士協会連合会

一般社団法人日本中小企業診断士協会連合会ではこのほど、都道府県協会に所属する会員中小企業診断士に対し、その活動状況を把握することにより、中小企業診断士の活性化や地位向上を図るとともに、今後の事業展開を検討する際の資料とすることを目的として、アンケート調査を実施した。

その集計結果を、以下に掲載する。

〈調査方法〉

1. 調査対象：都道府県協会に所属する会員中小企業診断士
2. 調査方法：専用フォームによるWeb回答
3. 調査時点：令和7年11月
4. 回答数：1,847名

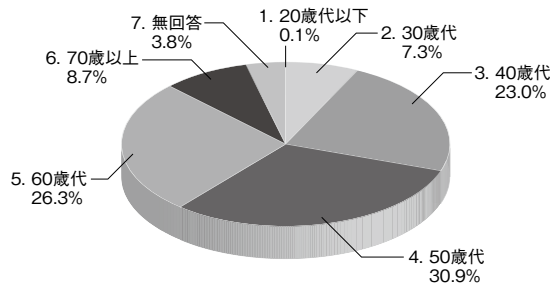
問1. あなたが所属する県協会は。

略

問2. あなたの年齢は。

「50歳代」が30.9%と最も多く、「60歳代」26.3%、「40歳代」23.0%が続く。

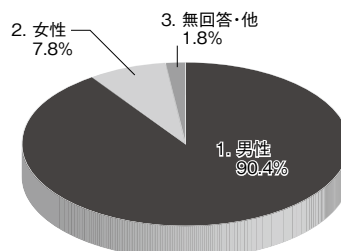
選択肢	回答数	構成比(%)
1. 20歳代以下	2	0.1
2. 30歳代	135	7.3
3. 40歳代	425	23.0
4. 50歳代	570	30.9
5. 60歳代	485	26.3
6. 70歳以上	160	8.7
7. 無回答	70	3.8
回答数計	1,847	100.0



問3. あなたの性別は。

90.4%が「男性」、7.8%が「女性」であった。

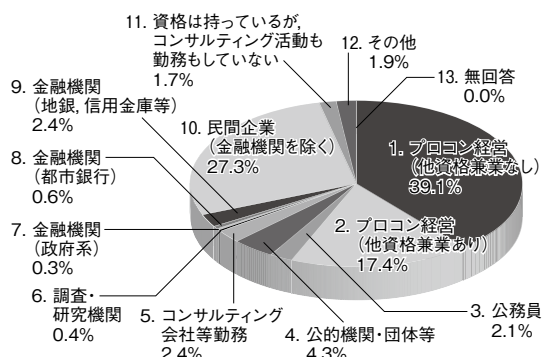
選択肢	回答数	構成比(%)
1. 男性	1,670	90.4
2. 女性	144	7.8
3. 無回答・他	33	1.8
回答数計	1,847	100.0



問4. あなたの職業は。

「プロコン診断士」が58.9%、「企業内診断士」が37.4%で、6割近くが「プロコン診断士」であった。
 ※本アンケート調査では、以下の1, 2, 5の方々を「プロコン診断士」、3, 4, 6~10の方々を「企業内診断士」と表現する。

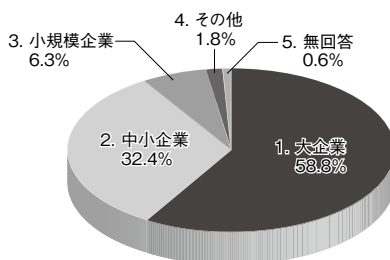
選択肢	回答数	構成比(%)
1. プロコン経営(他資格兼業なし)	723	39.1
2. プロコン経営(他資格兼業あり)	322	17.4
3. 公務員	39	2.1
4. 公的機関・団体等	80	4.3
5. コンサルティング会社等勤務	44	2.4
6. 調査・研究機関	8	0.4
7. 金融機関(政府系)	5	0.3
8. 金融機関(都市銀行)	12	0.6
9. 金融機関(地銀, 信用金庫等)	44	2.4
10. 民間企業(金融機関を除く)	504	27.3
11. 資格は持っているが、コンサルティング活動も勤務もしていない	31	1.7
12. その他	35	1.9
13. 無回答	0	0.0
回答数計	1,847	100.0



問5. 問4で5~10と答えた方(※会社等にお勤めの方)にお聞きします。あなたの会社の規模は。

「大企業」が58.8%、「中小企業」と「小規模企業」の合計が38.7%であった。

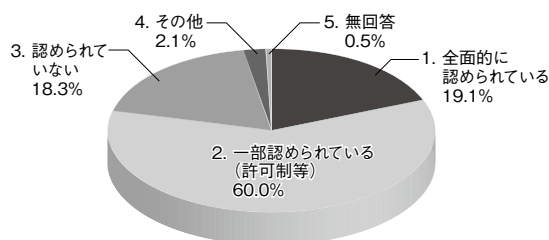
選択肢	回答数	構成比(%)
1. 大企業	363	58.8
2. 中小企業	200	32.4
3. 小規模企業	39	6.3
4. その他	11	1.8
5. 無回答	4	0.6
回答数計	617	100.0



問6. 問4で5~10と答えた方(※会社等にお勤めの方)にお聞きします。あなたの会社では、副業が認められていますか。

「全面的に認められている」「一部認められている(許可制等)」の合計が79.1%と、前回調査(2021年報告)の47.0%と比較して、副業を認める企業が大幅に増加している。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 全面的に認められている	118	19.1
2. 一部認められている(許可制等)	370	60.0
3. 認められていない	113	18.3
4. その他	13	2.1
5. 無回答	3	0.5
回答数計	617	100.0



問7. 中小企業診断士以外の保有資格は（回答はいくつでも）。

「なし」が23.7%で最も多く、保有資格として挙げられたのは、「ファイナンシャルプランナー」20.5%、「情報処理技術者」16.0%、「宅地建物取引士」11.0%の順となっている。

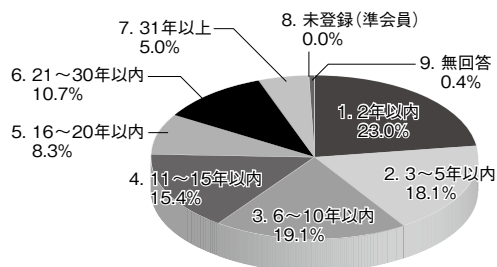
また、「その他」の選択肢では、キャリアコンサルタント、日商簿記等の回答が多くみられた。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. なし	437	23.7
2. 弁護士	5	0.3
3. 公認会計士(補)	9	0.5
4. 税理士	24	1.3
5. 司法書士	3	0.2
6. 行政書士	119	6.4
7. 不動産鑑定士(補)	2	0.1
8. 社会保険労務士	113	6.1
9. 技術士(補)	71	3.8
10. 情報処理技術者	295	16.0
11. ITコーディネータ	140	7.6
12. 販売士	155	8.4
13. ファイナンシャルプランナー	379	20.5
14. 弁理士	7	0.4
15. MBA	190	10.3
16. 宅地建物取引士	203	11.0
17. その他	406	22.0
18. 無回答	156	8.4
回答者数計	1,847	

問8. 中小企業診断士登録以来、何年が経過しましたか。

「登録5年以内」が41.1%、「6～15年以内」が34.5%、「16年以上」が24.0%となっている。

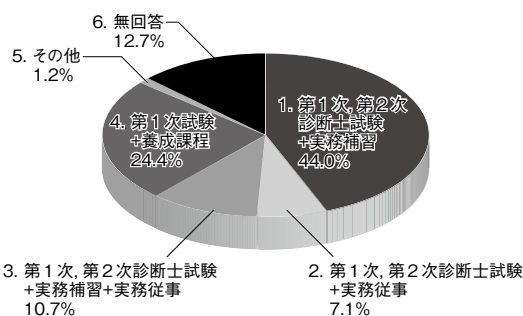
選択肢	回答数	構成比(%)
1. 2年以内	424	23.0
2. 3～5年以内	334	18.1
3. 6～10年以内	353	19.1
4. 11～15年以内	285	15.4
5. 16～20年以内	153	8.3
6. 21～30年以内	198	10.7
7. 31年以上	93	5.0
8. 未登録(準会員)	0	0.0
9. 無回答	7	0.4
回答数計	1,847	100.0



問9. 2001（平成13）年度の制度変更以降に登録した方にお聞きします。中小企業診断士資格を取得した方法は。

「第1次、第2次診断士試験+実務補習」が44.0%と最も多く、「第1次試験+養成課程」24.4%、「第1次、第2次診断士試験+実務補習+実務従事」10.7%が続く。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 第1次,第2次診断士試験+実務補習	812	44.0
2. 第1次,第2次診断士試験+実務従事	131	7.1
3. 第1次,第2次診断士試験+実務補習+実務従事	198	10.7
4. 第1次試験+養成課程	450	24.4
5. その他	22	1.2
6. 無回答	234	12.7
回答数計	1,847	100.0



問10. 中小企業診断士資格取得の動機は（回答はいくつでも）。

最も多い回答が「自己啓発やスキルアップ」58.0%で、「経営診断・支援に従事」54.7%、「経営コンサルタントとして独立」36.7%が続く。また、「定年後の資格活用」も26.9%と上位を占め、全般的な独立志向の高まりがみとれる。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 中小企業の経営診断・支援に従事したいと思ったから	1,011	54.7
2. 経営コンサルタントとして独立したいと思ったから	677	36.7
3. 経営コンサルタントとしての信用を高めるため	231	12.5
4. 資格を持っていると優遇されるから	164	8.9
5. 業務遂行上,資格を活用できるから	448	24.3
6. 経営全般の勉強等,自己啓発やスキルアップを図ることができるから	1,072	58.0
7. 定年後に資格を活用したいと思ったから	496	26.9
8. 転職等,就職の際に有利だから	167	9.0
9. その他	61	3.3
10. 無回答	5	0.3
回答者数計	1,847	

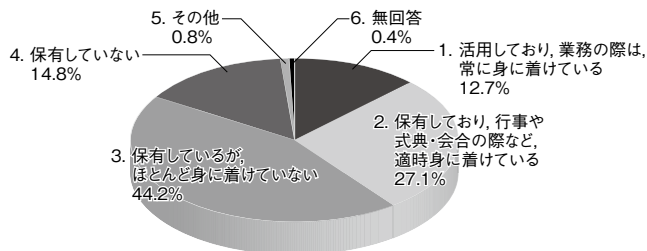
問11. 中小企業診断士資格取得時に、勤務先や関係先からはどう評価されましたか（回答はいくつでも）。
 最も多い「評価・処遇に変化はなかった」35.5%を除くと、「上司・同僚から良い評価を得た」21.5%、「関係先から良い評価を得た」21.4%といった声が上位を占めた。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 昇給・昇格した	88	4.8
2. 資格手当が支給された	271	14.7
3. 資格が生かされる部署に配置された	164	8.9
4. 上司・同僚から良い評価を得た	397	21.5
5. 関係先から良い評価を得た	396	21.4
6. 新規業務, 新規取引の獲得につながった	228	12.3
7. 勤務先, 関係先からの評価・処遇に変化はなかった	655	35.5
8. 取得したことを伝えていなかった	131	7.1
9. その他	136	7.4
10. 無回答	39	2.1
回答者数計	1,847	

問12. あなたは中小企業診断士バッジを保有、活用していますか。

「保有しているが、ほとんど身に着けていない」が44.2%と最も多く、「保有しており、行事や式典・会合の際など、適時身に着けている」が27.1%で続く。一方で、「保有していない」という回答も14.8%みられた。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 活用しており、業務の際は、常に身に着けている	234	12.7
2. 保有しており、行事や式典・会合の際など、適時身に着けている	501	27.1
3. 保有しているが、ほとんど身に着けていない	816	44.2
4. 保有していない	274	14.8
5. その他	14	0.8
6. 無回答	8	0.4
回答数計	1,847	100.0



問13. 中小企業診断士の資格更新要件のうち、あなたの実務の従事要件のポイント取得方法は（回答はいくつでも）。

「本業（コンサルティング業務等）で取得可能」との回答が62.4%と6割以上を占めた。一方、「休日等にコンサルティング業務へ参加」18.1%、「県協会主催の診断実務従事へ参加」10.5%など、勤務外の時間を活用したコンサルティング業務への参加や、県協会の事業を活用した実務従事への参加も多くみられる。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 本業（コンサルティング業務等）で取得可能	1,152	62.4
2. 休日等を活用して、コンサルティング業務への参加	335	18.1
3. 県協会の研究会が主催するグループ診断への参加	164	8.9
4. 県協会が主催する窓口経営相談への参加	125	6.8
5. 県協会が主催する診断実務従事への参加	194	10.5
6. 所属企業内での診断活動（業務プロセス革新、経営革新等の提案活動）への従事	156	8.4
7. 取引先中小企業としたコンサルティング活動（下請指導、リテールサポート等の提案活動等）への従事	146	7.9
8. その他	100	5.4
9. 無回答	12	0.6
回答者数計	1,847	

問14. 実務従事ポイントの取得にあたって阻害要因はありますか。あるとすれば、その理由は（回答はいくつでも）。

「阻害要因がある」と回答した方は22.0%で、その理由は上位から「実務従事の機会がない」53.7%、「業務が忙しく、時間が取れない」45.3%、「仕事内容が実務従事と関連しない」36.5%となっている。

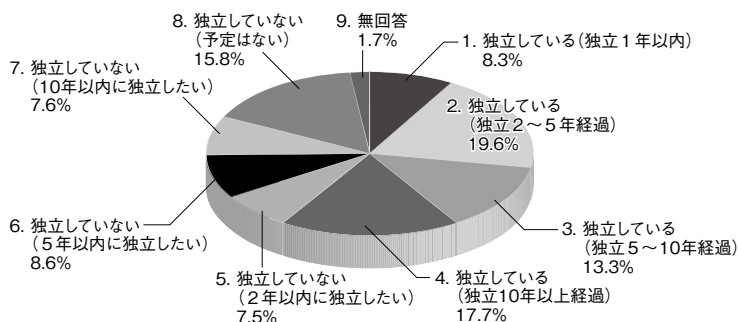
選択肢	回答数	構成比(%)
1. 阻害要因はない(問題なく取得できる)	1,388	75.1
2. 阻害要因がある	406	22.0
3. 無回答	53	2.9
回答者数計	1,847	100.0

選択肢	回答数	構成比(%)
(1) 会社の業務が忙しく、実務従事を行う時間が取れない	184	45.3
(2) 実務従事の機会そのものがない	218	53.7
(3) 実務従事の要件認定が厳しい	129	31.8
(4) 勤務先の仕事内容が実務従事と関連しない	148	36.5
(5) その他	70	17.2
(6) 無回答	1	0.2
回答者数計	406	

問15. あなたは中小企業診断士として独立していますか。あるいは、今後独立する予定はありますか。

58.9%と6割近くの方が「独立している」と回答した。一方、「2年以内」(7.5%),「5年以内」(8.6%),「10年以内」(7.6%)に「独立したい」方の合計は23.7%で、「予定はない」(15.8%)方と比較すると、現在独立していない方の6割に独立の意向があることがわかる。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 独立している(独立1年以内)	154	8.3
2. 独立している(独立2～5年経過)	362	19.6
3. 独立している(独立5～10年経過)	246	13.3
4. 独立している(独立10年以上経過)	326	17.7
5. 独立していない(2年以内に独立したい)	138	7.5
6. 独立していない(5年以内に独立したい)	158	8.6
7. 独立していない(10年以内に独立したい)	140	7.6
8. 独立していない(予定はない)	292	15.8
9. 無回答	31	1.7
回答数計	1,847	100.0



問16. 問15で独立していない、かつ予定はないと答えた方(※8と答えた方)に伺います。その理由は(回答はいくつでも)。

具体的な理由としては、「仕事の内容や職場環境に満足している」が20.7%で最も多かった。一方、「現在に比べ、収入が低下」18.8%、「収入が安定しない」18.5%、「受注機会の確保が難しい」17.9%、「能力不足」17.0%など、収入や自身の能力への不安が独立の意向に影響していることがうかがえる。

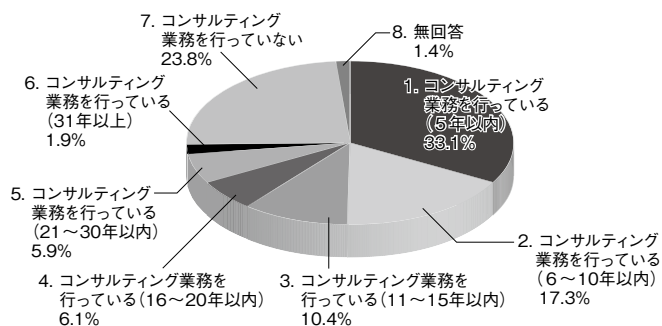
選択肢	回答数	構成比(%)
1. 受注機会の確保が難しいと思うから	130	17.9
2. 収入が安定しないから	135	18.5
3. 現在のところ、自分の能力不足を感じているから	124	17.0
4. 現在の仕事の内容や職場環境に満足しているから	151	20.7
5. 現在に比べ、収入が低下すると見込まれるから	137	18.8
6. 資格の取得が目的であったから	16	2.2
7. 中小企業診断士という職業に魅力を感じていないから	9	1.2
8. 個人としての責任が重くなるから	11	1.5
9. その他	13	1.8
10. 無回答	437	60.0
回答者数計	728	

問17. 現在、あなたはコンサルティング業務（副業等を含む）を行っていますか。行っている場合は、何年が経過していますか。

「行っている」と回答した方は74.7%と約3/4を数え、前回調査（2021年報告）の65.7%と比較して、コンサルティング業務に従事する方は増加している。

また、「行っている」と回答した方の業務開始からの経過年数は「5年以内」が33.1%、「6～10年」が17.3%で、10年以内の方が約半数を占める。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. コンサルティング業務を行っている(5年以内)	612	33.1
2. コンサルティング業務を行っている(6～10年以内)	320	17.3
3. コンサルティング業務を行っている(11～15年以内)	193	10.4
4. コンサルティング業務を行っている(16～20年以内)	113	6.1
5. コンサルティング業務を行っている(21～30年以内)	109	5.9
6. コンサルティング業務を行っている(31年以上)	36	1.9
7. コンサルティング業務を行っていない	439	23.8
8. 無回答	25	1.4
回答数計	1,847	100.0



問18. 問17でコンサルティング業務を行っていないと答えた方に伺います。あなたがコンサルティング業務を行っていない理由は（回答はいくつでも）。

最も多かった回答は「機会がない」53.8%で、コンサルティング業務に従事していない方の半数以上が機会不足を理由に挙げている。また、「時間的制約」43.5%、「能力不足」28.7%、「副業禁止」28.0%などを理由に挙げる方も多い。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 資格を自分の仕事に生かしているから	70	15.9
2. 会社の仕事に追われ、時間と余裕がないから	191	43.5
3. 会社との契約上、副業ができないから	123	28.0
4. 機会がないから	236	53.8
5. 自分の能力不足	126	28.7
6. 関係者の理解不足	5	1.1
7. コンサルティング業務を行うことに責任の重さを感じるから	36	8.2
8. その他	16	3.6
9. 無回答	1	0.2
回答者数計	439	

問19. 問17でコンサルティング業務を行っている方へ伺います。あなたがコンサルティング業務を行う際の依頼を受けたきっかけについて、多いものを最大3つまで選び、1～3位の順位をつけて番号をご記入ください。

1位は「中小企業支援機関・商工団体等からの紹介」が20.1%と最も多く、「県協会からの紹介」15.9%、「相談窓口」9.5%が続く。また2位・3位になると、「他の中小企業診断士・団体からの紹介」の回答が増え、仕事の獲得に際しては人的ネットワークの構築が重要であることがうかがえる。

選択肢	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
	1位		2位		3位	
1. 講演会・経営者向けイベント	33	2.4	43	3.1	79	5.7
2. 相談窓口	132	9.5	85	6.1	83	6.0
3. ユーザー企業からの直接依頼(ウェブサイト, SNS等)	118	8.5	75	5.4	72	5.2
4. 県協会からの紹介	220	15.9	163	11.8	90	6.5
5. 中小企業支援機関・商工団体等からの紹介	278	20.1	231	16.7	109	7.9
6. 金融機関からの紹介	92	6.7	108	7.8	68	4.9
7. 他の中小企業診断士(または中小企業診断士を中心とした団体)からの紹介	120	8.7	151	10.9	146	10.6
8. 他資格専門家からの紹介	37	2.7	66	4.8	85	6.1
9. 異業種交流会や所属経営者団体でのつながり	30	2.2	42	3.0	31	2.2
10. 現在や過去の支援企業からの紹介	113	8.2	87	6.3	89	6.4
11. 以前の勤務先等からの紹介	32	2.3	38	2.7	27	2.0
12. コンサルティング会社・研修会社からの紹介	59	4.3	29	2.1	45	3.3
13. 友人からの紹介	55	4.0	57	4.1	71	5.1
14. 執筆物(書籍・雑誌等)の読者からの依頼	3	0.2	4	0.3	11	0.8
15. その他	47	3.4	14	1.0	13	0.9
16. 無回答	14	1.0	190	13.7	364	26.3
回答者数計	1,383		1,383		1,383	

問20. あなたは昨年1年間で、中小・小規模企業を対象とする次の中小企業診断士業務を何日行いましたか。おおよその日数をご記入ください。

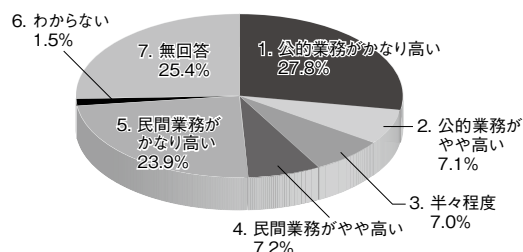
「経営支援業務」が81.8日と最も多く、「診断業務」「調査研究業務」が続く。「その他」では、「各種審査業務」「窓口相談業務」などの回答が多くみられる。

	回答数	平均日数
1. 診断業務	888	41.2
2. 経営支援業務	1,140	81.8
3. 調査研究業務	333	31.9
4. 講演・教育訓練業務	557	19.3
5. 執筆業務	177	21.8
6. その他	158	53.0
7. 合計	1,095	120.8

問21. あなたの仕事を大きく分けて公的業務（国・都道府県・市町村，商工会議所等中小企業関係機関），民間業務とするなら，売上に占める割合はどちらがどの程度高いですか。

「公的業務が高い（かなり高い+やや高い）」が34.9%，「民間業務が高い（かなり高い+やや高い）」が31.1%と拮抗している。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 公的業務がかなり高い	514	27.8
2. 公的業務がやや高い	132	7.1
3. 半々程度	130	7.0
4. 民間業務がやや高い	133	7.2
5. 民間業務がかなり高い	441	23.9
6. わからない	28	1.5
7. 無回答	469	25.4
回答数計	1,847	100.0



問22. 次の中で、あなたが専門家登録等を行っている組織・機関は（回答はいくつでも）。

最も多かった回答が「商工会・商工会議所」37.1%で、「都道府県」24.9%，「行っていない」20.0%が続く。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 専門家登録等を行っていない	369	20.0
2. 中小企業基盤整備機構	312	16.9
3. よろず支援拠点	115	6.2
4. 都道府県(専門家・相談員等)	459	24.9
5. 市区町村(専門家・相談員等)	236	12.8
6. 商工会・商工会議所(専門家・相談員等)	685	37.1
7. その他	139	7.5
8. 無回答	484	26.2
回答者数計	1,847	

問23. あなたが行っている顧問契約についてお伺いします。

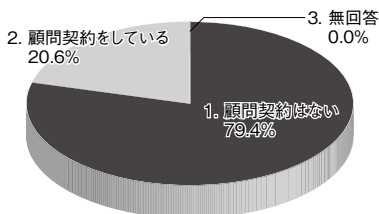
ここでは、問21で公的・民間業務の売上の割合が「かなり高い」と回答した方を対象に集計を行った。

「公的業務がかなり高い」方の20.6%、「民間業務がかなり高い」方の53.5%が顧問契約を結んでおり、2.5倍以上の差がある。また、顧問先数や1ヵ月あたりの訪問日数、顧問料（月額・平均）のいずれも、「民間業務がかなり高い」方が大きく上回っている。

■問21で「1. 公的業務がかなり高い」を選択した人の集計

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 顧問契約はない	408	79.4
2. 顧問契約をしている	106	20.6
3. 無回答	0	0.0
回答数計	514	100.0

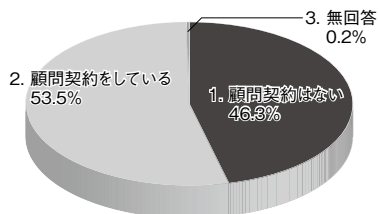
選択肢	回答数	平均
顧問先は何社ですか	97	2.4
平均で1ヵ月に何日出向きますか	97	1.8
顧問料の月額平均は(千円)	75	75.6
顧問料の最高月額は(千円)	75	94.5



■問21で「5. 民間業務がかなり高い」を選択した人の集計

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 顧問契約はない	204	46.3
2. 顧問契約をしている	236	53.5
3. 無回答	1	0.2
回答数計	441	100.0

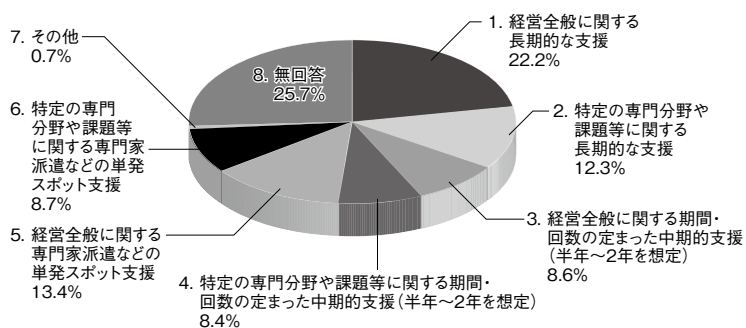
選択肢	回答数	平均
顧問先は何社ですか	216	6.2
平均で1ヵ月に何日出向きますか	216	4.6
顧問料の月額平均は(千円)	214	150.9
顧問料の最高月額は(千円)	210	273.7



問24. あなたが行っているコンサルティングの形態として近いものはどれですか。

「無回答」25.7%を除くと、「経営全般の長期的支援」が22.2%で最も多く、「経営全般の単発スポット支援」13.4%、「専門分野や課題の長期的支援」12.3%が続く。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 経営全般に関する長期的な支援	410	22.2
2. 特定の専門分野や課題等に関する長期的な支援	227	12.3
3. 経営全般に関する期間・回数の定まった中期的支援(半年～2年を想定)	159	8.6
4. 特定の専門分野や課題等に関する期間・回数の定まった中期的支援(半年～2年を想定)	155	8.4
5. 経営全般に関する専門家派遣などの単発スポット支援	248	13.4
6. 特定の専門分野や課題等に関する専門家派遣などの単発スポット支援	161	8.7
7. その他	13	0.7
8. 無回答	474	25.7
回答数計	1,847	100.0

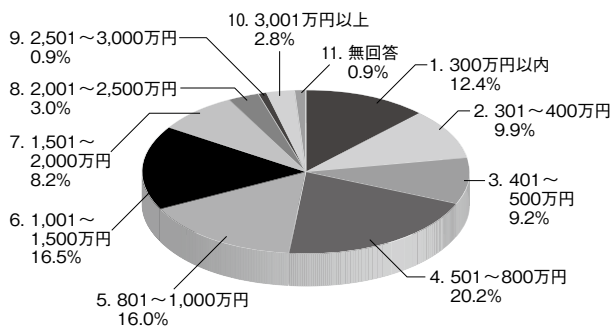


問25. あなたの中小企業診断士業務の年間売上は、おおよそいくらですか。

ここでは、問20で中小企業診断士業務日数が「100日以上」と回答した方を対象に集計を行った。

最も多かったのが「501～800万円」20.2%で、「1,001～1,500万円」16.5%、「801～1,000万円」16.0%が続き、「501～1,500万円」のボリュームゾーンで半数以上を占める。

選択肢	回答数	構成比(%)
1. 300万円以内	70	12.4
2. 301～400万円	56	9.9
3. 401～500万円	52	9.2
4. 501～800万円	114	20.2
5. 801～1,000万円	90	16.0
6. 1,001～1,500万円	93	16.5
7. 1,501～2,000万円	46	8.2
8. 2,001～2,500万円	17	3.0
9. 2,501～3,000万円	5	0.9
10. 3,001万円以上	16	2.8
11. 無回答	5	0.9
回答数計	564	100.0



問26. あなたの現在の中小企業診断士業務報酬はいくらですか。平均と最高額を千円単位でそれぞれご記入ください。

ここでは、問20で中小企業診断士業務日数が「100日以上」と回答した方を対象に集計を行った。上記のうち、問21で「公的業務がかなり高い」と回答した方と「民間業務がかなり高い」と回答した方では、平均・最高額ともに、金額に3倍近くの開きがみられる。なお、前回調査（2021年報告）と比較すると、金額はやや上昇している。

■問21で「1. 公的業務がかなり高い」を選択した人の報酬額

		回答数	平均 (千円)
1. 診断業務(1日あたり)	平均額	144	39.4
	最高額	142	59.1
2. 経営支援業務(1日あたり)	平均額	163	43.3
	最高額	158	73.0
3. 調査研究業務(1日あたり)	平均額	55	30.5
	最高額	49	41.8
4. 講演・教育訓練業務(1日あたり)	平均額	113	43.8
	最高額	110	86.0
5. 執筆業務(1枚(400字)あたり)	平均額	40	13.7
	最高額	42	16.9
6. その他(1日あたり)	平均額	26	39.3
	最高額	25	63.1

■問21で「5. 民間業務がかなり高い」を選択した人の報酬額

		回答数	平均 (千円)
1. 診断業務(1日あたり)	平均額	53	107.2
	最高額	65	120.1
2. 経営支援業務(1日あたり)	平均額	97	119.4
	最高額	118	148.4
3. 調査研究業務(1日あたり)	平均額	24	92.0
	最高額	27	100.7
4. 講演・教育訓練業務(1日あたり)	平均額	63	115.2
	最高額	80	166.8
5. 執筆業務(1枚(400字)あたり)	平均額	30	13.4
	最高額	31	16.8
6. その他(1日あたり)	平均額	16	92.2
	最高額	16	102.8

問27. 以下の設問からは、全員にお伺いします。あなたが中小企業診断士として直接的な経済的利益以外で、資格に求める価値は何ですか。近いものを最大3つまで選び、1～3位の順位をつけてご記入ください。

資格に求める価値の1位は、上位から順に「社会貢献」25.0%、「人間形成やネットワーク作り」21.4%、「経営全般の勉強等、スキルアップ」20.6%であった。そのほか、「専門性」「社会的信用」などの回答も多かった。

選択肢	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
	1位		2位		3位	
1. 診断士仲間、異士業間の人間形成やネットワーク作りに活用したい	396	21.4	330	17.9	375	20.3
2. 自分の得意分野の専門性を高めたい	302	16.4	381	20.6	252	13.6
3. 経営全般の勉強等、スキルアップを図りたい	381	20.6	406	22.0	318	17.2
4. 自社内での診断士グループに所属して、業務の幅を広げたい	7	0.4	19	1.0	39	2.1
5. 社会的な信用・信頼性を向上させたい	243	13.2	270	14.6	246	13.3
6. 資格を通じて社会貢献をしたい	461	25.0	273	14.8	289	15.6
7. 後進の育成や仲間のスキル向上に貢献したい	19	1.0	80	4.3	136	7.4
8. 特にない	30	1.6	3	0.2	33	1.8
9. 無回答	8	0.4	85	4.6	159	8.6
回答数計	1,847	100.0	1,847	100.0	1,847	100.0

問28. 次の選択肢の中で、あなたの専門分野に近いものを最大3つまで選び、1～3位の順位をご記入ください。

1～3位に共通して、上位から順に「経営企画・戦略立案」、「財務」、「販売・マーケティング」となっている。

選択肢	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
	1位		2位		3位	
1. 経営企画・戦略立案	525	28.4	456	24.7	294	15.9
2. 販売・マーケティング	224	12.1	258	14.0	198	10.7
3. 技術・製品開発	82	4.4	74	4.0	48	2.6
4. 生産管理	99	5.4	110	6.0	70	3.8
5. 財務	226	12.2	187	10.1	177	9.6
6. 人事・労務管理	76	4.1	87	4.7	115	6.2
7. 人材教育・採用	63	3.4	83	4.5	102	5.5
8. 情報化・IT化	153	8.3	118	6.4	111	6.0
9. 海外展開・国際化	37	2.0	27	1.5	38	2.1
10. 医療・福祉・介護	23	1.2	20	1.1	22	1.2
11. 農林水産振興	30	1.6	16	0.9	32	1.7
12. 創業支援	49	2.7	100	5.4	158	8.6
13. 事業再生	94	5.1	95	5.1	98	5.3
14. 事業承継・M&A	64	3.5	88	4.8	104	5.6
15. 商店街支援	8	0.4	15	0.8	27	1.5
16. BCP	14	0.8	20	1.1	44	2.4
17. その他	69	3.7	17	0.9	23	1.2
18. 無回答	11	0.6	76	4.1	186	10.1
回答数計	1,847	100.0	1,847	100.0	1,847	100.0

問29. 中小企業診断士業界全体として、今後取り組むべき課題は何だと考えますか。最大3つまで選び、1～3位の順位をご記入ください。

1位に挙げられたのは上位から順に、「実行支援力・伴走支援力の強化」32.7%、「資格認知度・信頼性の向上」25.3%、「顧客開拓力の強化」7.1%であった。そのほか、「公的機関との連携強化」「専門性強化と診断士間の連携」などの回答も多かった。

選択肢	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
	1位		2位		3位	
1. 実行支援力・伴走支援力の強化	604	32.7	271	14.7	185	10.0
2. 公的支援機関との連携強化	118	6.4	234	12.7	161	8.7
3. 資格の認知度・信頼性の向上	468	25.3	222	12.0	184	10.0
4. 若手診断士の活躍支援と定着促進	42	2.3	80	4.3	62	3.4
5. 専門性の強化と診断士間の連携体制の構築	119	6.4	249	13.5	202	10.9
6. 経営者ニーズに即した顧客開拓力の強化	132	7.1	209	11.3	207	11.2
7. 変化の激しい時代における社会課題の早期発見と対応	109	5.9	154	8.3	203	11.0
8. 生成AIへの対応強化	59	3.2	122	6.6	207	11.2
9. 事業承継など時代に即した経営課題への対応強化	102	5.5	201	10.9	257	13.9
10. その他	74	4.0	11	0.6	25	1.4
11. 無回答	20	1.1	94	5.1	154	8.3
回答数計	1,847	100.0	1,847	100.0	1,847	100.0